

## 風しん患者の発生について【注意喚起】

平成30年9月20日(木)、石川中央保健所管内の医療機関から風しん患者(40歳代、男性)の届出がありました。

風しんは、今年の7月下旬から関東地方を中心に届出数が増加しており、今後、県内でも患者が増加する可能性がありますので、広く情報提供するとともに、感染の拡大防止のため、注意を喚起するものです。

### 1 風しん患者発生状況 (人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年*
全国	14,344	319	163	126	93	496
石川県	26	2	0	1	0	1

※全国は9月9日現在、石川県は9月20日現在

### 2 風しんとは

- ・主な症状は、発熱、発疹、リンパ節の腫れなど
- ・患者の咳やくしゃみのしぶきにより感染
- ・潜伏期間(感染者と接触してから症状が出るまでの期間)は2~3週間程度
- ・感染期間は、発疹が出現する7日前から出現後7日までの間

### 3 妊婦や妊娠の可能性のある方へ

- ・風しんに対する免疫が不十分な妊娠初期(約20週まで)の妊婦が風しんにかかると、出生児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状(先天性風しん症候群)が生じることがあります。
- ・妊婦は予防接種が受けられないため、妊娠初期の方は、なるべく人混みに出かけるのを避けましょう。

### 4 風しんと思われる場合

- ・発熱や発しん等の症状から風しんが疑われる場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診してください。
- ・受診の際は、マスクを着用し、公共交通機関等の利用を避けてください。

### 5 風しんにかからないために(予防方法)

- ・最も効果的な予防方法は、予防接種です。予防接種は2回受けましょう。
- ・定期接種対象者(1歳児、小学校入学前の1年間)は、確実に予防接種を受けましょう。
- ・妊娠を希望される方や妊婦の同居家族(夫、子どもなど)は、かかりつけ医に相談し、抗体検査や任意で予防接種を受けることについて検討ください。
- ・30代から50代の男性は、特に風しんの免疫が不十分な世代と言われています。この世代の方は、予防接種について検討ください。
- ・ご不明な点やご相談等は、お住まいの地域の保健所にご連絡ください。

### 【参考】風しん抗体検査事業について

県および金沢市では、妊娠を希望する女性(同居者含む)等に対して、委託医療機関において無料の抗体検査を実施しています。

### 【お願い】

報道機関各位におかれましては、感染症法に基づき、患者等の個人に関わる情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いします。